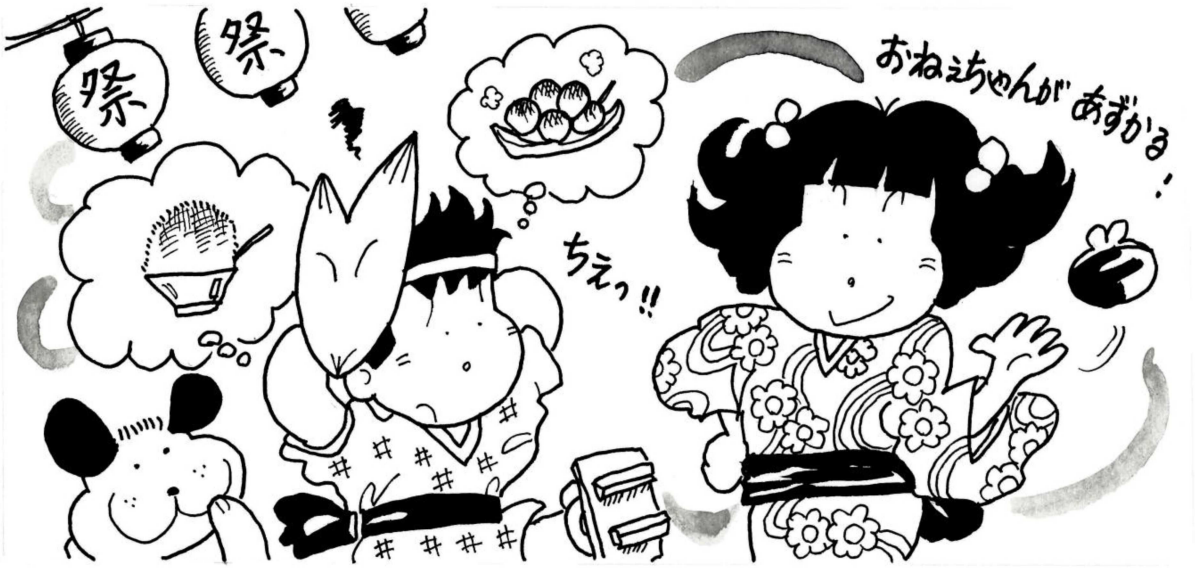
第45巻4号2021年7月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2021 7月号

ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse



掲 示 板

館内ボランティア活動再開と感染対策のお願い

当館では、大阪府の「緊急事態宣言」に伴い、４月下旬から館内のボランティア活動と会議室貸出を休止しましたが、６月22日から以下の通り制限付きで再開しました。断続的な開館の休止により、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。コロナ禍の中ですが、視覚障害等の方々への情報提供が維持できるように、感染予防に努めながら、ご協力をお願いいたします。

◆館内のボランティア活動と会議室利用

「密」を避けるため、係毎にご来館の日時指定や人数制限をお願いしています。会議室は、定員２分の１以下での利用をお願いします。

◆感染予防徹底のお願い

①来館前に体温を測り、平熱よりも高い時や体調に不安のある時は来館をお控えください。

②こまめな手洗いと手指消毒をお願いします。

③マスクの着用をお願いします。

④館内では他の方と出来るだけ距離を空け、食事中の会話や大きな声はお控えください。

◆５階エンジョイ！グッズサロンへのご来室

視覚障害者機器・用具の相談・購入等のためのご来室は事前予約をお願いします。図書貸出も含め電話受付と開室は当分の間、10時から15時（パソコンＱ＆Ａとサピエサポートセンターの電話は16時まで）とさせていただきます。

日本ライトハウス展に代えてトークイベント開催

今年の日本ライトハウス展は10月初旬、天満橋の OMM ビルで通常の展示会を目指していましたが、やむを得ず開催を断念しました。１年余り、視覚障害者用具や機器に直接触れる機会のない視覚障害者の方々に、新しい情報や出会いの場を提供したかったのですが、コロナ禍の中、通常の展示会では「密集・密接」が避けられず、感染拡大のリスクを抑えられないと判断したためです。ただし、通常の展示会に代えて、10月９日（土）・10日（日）の２日間、オンライン（Zoom や YouTube）で、最新機器の情報を集めた「トークイベント」を開催する予定です。詳しくは、次号でご案内しますので、ご期待ください。

７月の休館・休室について

７月８日（第２木曜、書庫・在庫整理日）＝５階エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は休止

７月22日（木）、23日（金）祝日＝全館休館

コロナ禍でオンラインによる会議やボランティア講習が拡大
全視情協の「新型コロナ対応アンケート調査結果」より

昨年２月のコロナ禍以来、当館を含む全国の点字図書館では、感染拡大の予防に努めざるを得なかったため、利用者とボランティアの皆様にご不便とご苦労をかけることになり、心苦しく思っています。そこで、全視情協では、今回のコロナ禍における全国の加盟施設の対応をアンケート調査し、65施設の回答をまとめました。調査対象期間は、２度の緊急事態宣言(2020年4月1日～5月31日と2021年１月１日～２月28日)に渡っており、対象地域も全国で状況の差が大きいため、一言では言えませんが、コロナ禍によりボランティア活動と利用者サービスが打撃を受け、その長期化に連れて会議やボランティア講習、利用者サービス等におけるオンラインの活用が広がっていることは明らかです。通番・設問の表現等は一部変えました。＊印は当館の対応です。(館長 竹下 亘)

1. 臨時に休館・閉館期間を設けたか。

	１度目	２度目
設けた	３２館	３館
設けなかった	４３館＊	６２館＊

2. 施設の利用時間(電話受付含む)を短縮したか。

	１度目	２度目
行った	１５館＊	１０館＊
行わなかった	５０館	５５館

3. 部屋の貸出の中止・時間短縮を行ったか。

	１度目	２度目
中止した	３８館＊	１８館＊
時間短縮をした	９館	１２館
行わなかった	１８館	３５館

4. 点字製作業務で中止したものはあるか。

	１度目	２度目
ある	１６館＊	１０館＊
ない	４９館	５５館

※主な内容＝来館でのボランティア活動、勉強会、養成研修、対面校正・打ち合わせ等

4B. 点字製作業務で新たに実施したものはあるか。

	１・２度目(同数)
ある	８館＊
ない	５７館

※主な内容＝オンラインによる研修会・講習会・読み合わせ校正、自宅での単独校正、郵送やネットでのデータや校正等のやりとり

5. 録音製作業務で中止したものはあるか。

	１度目	２度目
ある	３４館＊	１７館＊
ない	３１館	４８館

※主な内容＝来館による録音作業、定期発行物刊行、ボランティアの勉強会等

5B. 録音製作業務で新たに実施したものはあるか。

	１・２度目(同数)
ある	１０館＊
ない	５５館

※主な内容＝オンラインによる講習会・勉強会、自宅での録音・デイジー編集作業、ネットや郵送でのデータや校正等のやりとり

6. サービス業務で中止したものはあるか。

	１度目	２度目
ある	４３館＊	２８館＊
ない	２２館	３７館

※中止した主な内容＝対面朗読サービス(1度目25館)、対面で行うＩＣＴ訓練、映画会、来館による貸出、機器操作案内、文化活動、体験教室、研修会、講習会など

7. オンラインでの事業を導入したか。

	１度目	２度目
導入した	１８館＊	４１館＊
導入しなかった	４７館	２５館

※主な内容＝会議・研修(2度目41館)、ボランティア養成講習(2度目17館)、ＩＴ支援、相談支援、対面朗読(2度目4館)、点訳・音訳等

8. ボランティアとの関わり方の変化(複数回答可)

来館回数の減少	５９館
電話･メール対応の増加	５１館
郵送でのやりとり増加	４８館
オンライン対応の利用	２５館
以前と変化はない	５館

ボランティアの皆さんと一緒に、より良い録音図書を作るには
近畿視情協の「録音担当者向け座談会」に参加して

近畿視情協録音製作委員会では６月８日、コロナ禍に対応した企画として、オンラインによる「録音担当者向け座談会」を開催し、12人が参加しました。近畿視情協は関西の点字・公共図書館やNPOなど41施設・団体で組織し、製作技術やサービスの向上と連携を進める全国でも希な団体で、点訳・録音・サービスのスタッフによる委員会（研修・情報交換の場）を定期的に開いています。この座談会に参加して学んだこと、考えたことをご報告します。（録音製作係　内藤 流津）

マニュアルを元に、一緒に考えることが大切

今回の座談会では、各施設から録音製作の担当者が日々の業務・活動の中で抱えている問題を持ち寄り、共有することを目的としていました。さまざまな悩みや疑問・質問が集まりましたが、「ボランティアの方に出来ることは何か」ということが共通していたように思います。

当日交わされた議論の中で、大きな話題となった一つ目は「マニュアル」についてです。「マニュアルで定めていない事例の質問にどのように答えていくべきか」という質問がきっかけでした。製作の過程でスタッフが関わるタイミングは、ボランティアさんから直接質問を受ける施設や、まずはボランティアチーム内で話し合ってもらい、結論が出ない時に職員が議論に加わる施設などさまざまです。しかし、「すべてに対応した完璧なマニュアルを作成することは出来ない」という意見は共通していました。音訳では、同じ処理の事例が別の図書でも当てはまるということがありません。そのため、事例のすべてをマニュアルに反映しても、分厚くなるばかりで、どうしても実用的なものには出来ないのです。事例は共有したいけれど、マニュアルにすることは難しい……。このジレンマは誰もが抱えているのだと痛感しました。

この話題の中で印象的だったのは、「マニュアルはあくまで骨格」「マニュアルの不足部分はスタッフとボランティアが一緒に考えていく」など意識の持ち方についての意見が出たことです。ボランティアさんから問い合わせがあった時、私たちも「１つの正解を出さなければならない」と気を張ってしまうことがあります。しかし、この意識の持ち方についての意見がきっかけで、まずボランティアの皆さんがどのような案を持っているかを問いかけ、そして「一緒に」考えることが重要であることを再確認することが出来ました。他にも、マニュアル以外で事例を蓄積する方法について、広報誌や勉強会・交流会での発信など、さまざまな取り組みを共有することが出来て、とても有意義でした。

音訳者と校正者の意見をどう調整すべきか

大きな話題の二つ目は「校正」についてです。この話題は座談会の中で何度も取り上げられましたが、中でも私が深く考えさせられたのは「音訳者と校正者の意見が分かれた時、どう対応しているか」という問いかけでした。この場合、スタッフは「中立な立場で間に立つ」ことが役割となりますが、難しいのは、音訳には答えが無いため、どちらも（どれも）正解というパターンがほとんどだということです。私もボランティアの皆さんの意見や思いを仲介する度に、「この伝え方・対応で良かったのか」と悩んでしまいます。しかし、この問いかけから参加者の実体験を聞き、同じ迷いを抱えながら対応されているのだと実感しました。多くの事例がありましたが、共通していたのは、「答えは迷っても、より分かりやすい図書を作るという軸はぶれさせない」ということです。私も再度肝に銘じ、より良い選択を模索し続けたいと思います。

当日は他にもさまざまな意見や質問が交わされました。音訳と同じく正解が一つではないことばかりですが、参加者と悩みや疑問を共有することが出来て、とても貴重な機会となりました。これをきっかけに、より良い録音図書をボランティアの皆さんと一緒に作っていくために、職員という立場で何が出来るのか、そしてどうあるべきかを改めて考えたいと思います。

社会の一員として、自らに誇りを持って生きるために
日本ライトハウス職業訓練部で「新たな一歩」

小林 由紀

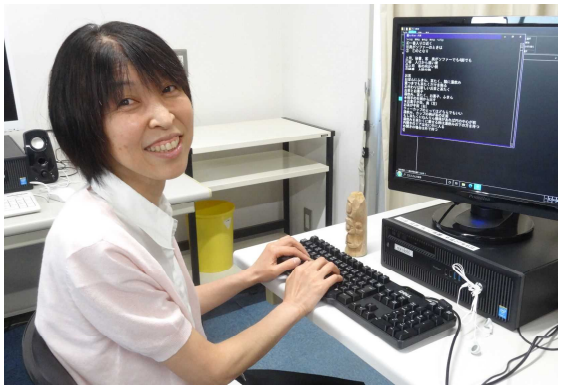
当法人の視覚障害リハビリテーションセンター(鶴見区)には職業訓練部があり、当館のスタッフも含め多くの利用者の方々が入所・修了後、活躍されています。ちょうど今春、当館と関わりの深い小林由紀さんが入所されましたので、訓練の様子を書いていただきました。(竹下)

８時50分。訓練の１日は、前髪をかき上げることから始まる――。

日本ライトハウス視覚障害リハビリテーションセンター４階の一室。壁際のデスクに１人１台パソコンが設置された訓練室、通称「職４(しょくよん)」で、私はこの４月から職業訓練を受けています。毎日９時10分から17時まで、１日が７コマ(１コマ50分)に分かれた訓練は、音声でのパソコン操作が中心です。ワードやエクセルの訓練は、実務に活かすには、検定を受けるには、と常に目的意識をもって進められ、ビジネスマナーの授業には「見えない人の名刺交換」など、一般知識と併せて現実に即した対応が盛り込まれています。自習時間にはクラスメイトと教え合うこともしばしば。職４で学ぶ仲間は、ここに来た経緯も年齢もそれぞれですが、誰もが社会に出ることを目指す同志です。

私は2016年の春、大学に進学した娘とともに京都に引っ越してきました。先天性の網膜色素変性症はかなり進行していましたが、支援についての知識はほとんどなく、これ以上見えなくなれば生活も、仕事もできなくなると思い込んでいました。そんな私でしたが、京都に来て京都ライトハウスに出会い、１年間の機能訓練と就労支援を経て、2017年、実習先の企業に就職。職場では上司はじめ多くの方からのサポートを得て、貴重な経験を積むことができました。その経験が少しでも誰かの役に立つならと、関西で発足した当事者組織「視覚障害者就労相談人材バンク」にも登録させていただきました。

突然のコロナ禍が世界を覆った昨年、人材バンクでは「今できる取組」として、視覚に障害を抱えながら就労している・していた方々の経験や思いを１冊の本にしようと書籍化プロジェクトが立ち上がり、私もそのメンバーに加わりました。一方、仕事では在宅勤務が増え、なすべきことを明確に見出せない日々が続きました。少しずつ見えなくなっていく自分の時間を大切にしたい。私は退職を決意し、スキルアップを図ることにしました。それからの約半年は、壁を乗り越え歩んでこられた方々の足跡が新たな一歩につながるよう、全身全霊で書籍編纂にあたりました。一人でも多くの方に光が届く形をメンバーとともに模索し、当事者目線での読書バリアフリーにも挑み、本年２月、書籍「あまねく届け！光」は無事発行となりました。



次は私。私も自らの一歩を踏み出そう。

京都の自宅を出るのは朝６時半。乗り換えの京阪出町柳駅でにこやかに声をかけてくださる駅員さんのおかげで、京橋までの小一時間を座っていくことができます。京橋駅の長いホームで見守りを申し出てくださる駅員さん。放出駅でエレベーターのボタンを探しあぐねる私をさりげなく助けてくださる方。私も誰かの役に立ちたい。社会の一員として、自らに誇りを持って生きたい。心からそう願うのは、多くの方に支えられて今があるから。

８時50分。さっと前髪をかき上げる私に職員さんが告げます。「はい、36.6度」。私は心の中できゅっと鉢巻きを結びます。

さあ、今日も１日がんばろう！

◆職業訓練部とは

日本ライトハウスでは1965(昭和40)年、「職業・生活訓練センター」をオープンし、職業訓練として機械科、構内電話交換科、情報処理科を開設。この取り組みを基盤として、職業訓練部は、大阪障害者職業能力開発校からの委託を受け、障害者能力開発訓練事業として職業訓練を行っています。入校は毎年４月と10月の２回で、訓練期間は基本１年間。定員は各回の合計16人で、訓練コースは、「情報処理科(パソコン活用コース）」「ビジネス科電話交換コース」「ビジネス科会計・経営コース」があります。全コースを通じて、パソコン訓練（Word によるビジネス文書の作成、Excel による表作成の基本操作）を共通訓練として実施。訓練生は公務員や一般企業等への就職を目指して、毎日頑張っています。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2021年5月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

5月分完成点字図書

4タイトル9冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

鬼滅の刃9(吾峠呼世晴)　1冊
点:南 佳奈
校:栗栖 忍

これをせずにはいられない!
(こざきゆう)　1冊
点:西尾純子
校:髙木智佳子　加尾美千子

鳥と人、交わりの文化誌
(細川博昭)　4冊
点:山根真紀子
校:G校正　宗像真李子

横綱の品格(滝田輝己)　3冊
点:山﨑好恵
校:河村牧子　木村寿子
加尾美千子

【お詫び】前号に記載した4月分の完成点字図書の制作者に誤りがありました。お詫びして再掲載いたします。

縁結び神社の猫神様
(鹿ノ倉いるか)　4冊
点:宍戸邦栄　山下慧子
校:木村寿子　古本扶美子
橋詰玲子

♠ 録 音 製 作 ♠

5月分完成録音図書

28タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

アーニャは、きっと来る
(M・モーパーゴ)　5:44
音:橋本万里

あなふさぎのジグモンタ
(とみながまい)　0:46
音:二宮真理

兄の名は、ジェシカ
(J・ボイン)　7:53
音:西田芳美

アメーバ経営(稲盛和夫)　7:02
音:森口慶子
校:佐藤圭子　橋本万里
本村英子
編:土井賀津子

with you(濱野京子)　5:36
音:大坂陽子

「うらやましい」がなくなる本
(植西聡)　4:08
音:竹下正子
校:胸永幸子　栗本慶子
金井典子
編:岸田素子

エカシの森と子馬のポンコ
(加藤多一)　2:33
音:水野順子
校:伊東晴子

おいで、アラスカ!
(A・ウォルツ)　6:02
音:桂 公子

オランウータンに会いたい
(久世濃子)　3:41
音:目連雅子
校:竹田佳代

科学者になりたい君へ
(佐藤勝彦)　5:44
音:溝渕久美子

カラスのいいぶん 人と生きることを選んだ鳥(嶋田泰子) 2:43
音:竹田佳代
校:目連雅子

クラシックへの挑戦状
(大友直人)　5:44
音:嶋津美香
校:久保洋子　松井喜美代
編:古跡眞知子

サンドイッチクラブ
(長江優子)　5:02
音:小林幸子

すごい朝時間術(石川和男) 4:40
音:畑 豊弥
校:岡田栄子　有末 道
下山とよみ
編:吉川順子

そのときがくるくる
(すずきみえ)　0:41
音:伊東晴子

次のテクノロジーで世界はどう
変わるのか(山本康正)　5:28
音:兵頭賢一
校:三原佳子　植田美穂子
編:小林万智子
テレビドラマでわかる平成社会
風俗史(影山貴彦)　6:04
音:小森佳津子
校:二宮真理　阪越紀子
編:吉川順子
時を継ぐ者伝(宇田川敬介) 7:39
音:渡邊周子
校:阪本美紀　久保洋子
植田美穂子
編:若槻敬子
どこからきたの?おべんとう
(鈴木まもる)　0:46
音:福島博子
ぼくのあいぼうはカモノハシ
(M・エングラー)　2:52
音:寺下千秋
牧野富太郎 日本植物学の父
(清水洋美)　4:21
音:木村純子
みずをくむプリンセス
(S・ヴァーデ)　0:40
音:下山とよみ
水を縫う(寺地はるな)　7:00
音:北川温子
モヤモヤの正体(尹雄大)　6:15
音:有川美津子
校:大西祥子　松井喜美代
編:山崎千代子
ゆりの木荘の子どもたち
(富安陽子)　1:56
音:大桑久美子
読むよむ書く(重松清)　14:56
音:澤田由紀
校:髙岡博子　松井喜美代
わたしたちのカメムシずかん
やっかいものが宝ものになった話
(鈴木海花)　1:06
音:濵名あきよ
私たちの負けられない想い。
(オザワ部長)　5:45
音:岩田真智子
校:川辺洋子　有末 道
松井喜美代
編:伊東晴子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『読書』2021年6月号
デイジー版　1:07
音:下山とよみ　校:寺下千秋

『アミ・ドゥ・ブライユ』第35号
点字版　1冊
点・校:梶原由美子　栗栖 忍
鴻上真理　南 佳奈
山根真紀子

『JRニュース』2021年6月号
点字版　3冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～俳句・川柳・短歌に親しむ』2021年6月号
デイジー版　0:12
音:下山とよみ　校:寺下千秋

『子供の科学』2021年4月号
デイジー版　4:06
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
夛田禮子　田中英子　土井明美
宮 清子　吉田 薫

『サイエンスかわら版』2021年4月号
デイジー版　4:00
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
大桑久美子 河原眞知子 阪本美紀
夛田禮子　濵 欣子　濵名あきよ
松本紀代

『日経パソコン』2021年5月号
デイジー版　4:03
音・校・編:情報文化センター
石井那智子　小倉玲子　桂 公子
金井典子　川端真知子　北川温子
木村純子　小林幸子　小林万智子
坂口幸子　阪本由美子　佐藤圭子
佐山敦子 嶋川真理子 下山とよみ
寺下千秋　寺田美枝子　西村郁子
二宮真理　橋本万里　浜本裕子
平田惠美子　福島博子　前田元子
三上 菊　溝渕久美子　目連雅子

『英語よもやま通信』2021年6月号
デイジー版　2:33
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
川端真知子　川辺洋子　小林幸子
中島美穂　中原尚子　前田元子
的場操代 山崎千代子 脇本登志子

『週刊新潮』デイジー版
◆2021年5月6日・13日ゴールデンウィーク特大号　11:18
井尻府三重　大橋恵子　岡村勝彦
奥田和美　加藤和夫　上田啓子
河原眞知子 衣田智恵美 木村加代
黒河典子　後藤泰子　坂口幸子
阪本由美子 正田潤子 中村千賀子
中村直美　中本和代　西田文子
野村美穂子　林 由子　東浦雅代
久富恭子　兵頭つね子　深津綾子
向髙寿子　山本晴代
編:中本和代

◆2021年5月20日夏端月増大号
10:36
荒木節子　太田貴子　越智真弓子
北村優美子　帰村千恵　清水百世
髙久俊子　寺西竹子　中本和代
中村洋子　成田次雄　成田由起
西村道子　西山トシ子　直場徳宥
橋本明子　服部秀美　星子鐵郎
前田元子　松原和子　松本昌子
守田喜久子　山下 豊　山田栄利子
和田文子
編:中本和代

◆2021年5月27日号　9:56
有川美津子 稲田至功子 大坂陽子
大島幸枝　大塚しづ子　岡﨑節子
上村裕子　神谷勉子　川添美智子
川端砂代子 久下悦子 小林万智子
坂本雪枝　佐藤圭子　佐藤公平
澤井 稔　嶋津美香　白井律子
鈴木栄二　髙田雅子　武市敦子
玉置明美　坪田捷子　冨田久美子
西村早斗子 西和田惠子 橋村惠子
濵 洋一　兵頭賢一　平田惠美子
弘津千加子 前田元子 八十嶋敦子
和田ゆう子
編:古跡眞知子

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
　サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
　「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

♥ プライベート製作 ♥

点字図書
FLUTE2
　(ヤマハ音楽振興会編)　1冊
　点:橋本和代
　点・校:辻野純代

録音図書
エドガー・ケイシーの「調律」
　健康法(福田高規)　11:30
　音・編:髙橋由紀江
TORIさんの特撮放談 キングコング
　対ゴジラのまき(TORI)　3:36
　音・編:坪田捷子
プロ野球全12球団選手名鑑2021
　45:30
　音・編:辻野玲子

☆ 電子書籍 ☆

◆プライベート製作
津田梅子
　森 美恵子

◆テキストデータ
電波時計(デジタル電子音
　目覚まし時計) 取扱説明書
　加藤珠子
CITIZEN 電波時計 取扱説明書
　足立佐紀子

◆テキストDAISY図書
1日10分のぜいたく
　テキスト化:森田敏子　大和佳代
　DAISY編集:森田敏子
　DAISY校正:加藤珠子
落語はこころの処方箋
　テキスト化:足立佐紀子 中川幸子
　DAISY編集:足立佐紀子
　DAISY校正:加藤珠子

❦ 館内お手伝い ❦

◆5月の貸出実績
点字　132tl　DAISY 3244tl
テープ　3tl
★5月の人気貸出図書★
(当館製作図書。順不同。)
【点字図書】
鉄に聴け鍛冶屋列伝(遠藤ケイ)
鬼滅の刃 7(吾峠呼世晴)
鬼滅の刃 8(吾峠呼世晴)
一冊でわかるイギリス史
　(小林照夫)
【録音図書】
海棠弁護士の事件記録(雨宮周)
産まれてすぐピエロと
　呼ばれた息子(ピエロの母)
現代の職人 質を極める
　生き方、働き方(早坂隆)
カレンの台所(滝沢カレン)

図書・情報サービス
塚本紀子
[茨木市バラの会]
永崎利恵

整理・情報サービス
岡田満千代

電子書籍
池尻三千子 西村佐世子 山本町子

❣ 対面リーディング ❣

5月　利用者1人・5件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子　木村謹治　澤井 稔
細井昌子

✉ パソコンサポート ✉
(ボイスネット)

【5月実績】
週報:和田眞由美
HP更新:中条正信

❋ ご 寄 附 ❋

西宮点訳グループあやめ
平野区社会福祉協議会
リーディングサービスN
宮 清子　湯川欣晃(2件)
(敬称略をご容赦下さい)

《一ツ橋綜合財団助成事業》
アクセシブルな電子書籍、シネマ・デイジー等、当館の先端的なメディアは公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

毎日社会事業団の専門講習会が相次いで開講

コロナ禍のため開催を延期していた毎日新聞大阪社会事業団共催の第34回「専門音訳講習会・処理の基礎コース」と「英語コース」が６月下旬、相次いで開講しました。両コースとも完全オンラインに変更したため、受講者は全国に広がり、「処理」が北海道から九州まで31人、「英語」も東北から九州まで15人に上りました。また、第24回 ICT サポートボランティア講習会(年10回)も６月26日、ようやく開講にこぎ着け、Twitter と LINE の講習会に12人が参加しました。

一ツ橋綜合福祉財団から今年度も多額の助成

本誌の「感謝報告」に記載しているように当館のアクセシブルな電子書籍やシネマ・デイジーなどの先端的メディアは、公益財団法人一ツ橋綜合財団(相賀(おうが)昌宏代表理事)のご助成を元に製作しています。今年度も多額の助成金を頂戴しましたので、感謝して活用させていただきます。

『アミ・ドゥ・ブライユ』の発行に貴重なご厚志

当館では、全国ほぼ唯一の児童向け点字雑誌『アミ・ドゥ・ブライユ』を隔月発行し、全国の希望者110人・校に無償で送っています。同誌は2015年に「点字普及」のために頂戴したご寄附を元に創刊し、その後も皆様のご支援で発行しています。この度、茨木市の NPO 法人リーディングサービスＮ様(西浦純子代表)から頂戴した多額のご寄附も同誌の発行費に充てさせていただきました。同グループは長年、地域の視覚障害者の方々の情報提供活動を続けて来ましたが、残念ながら昨年解散され、残った活動資金をご寄附くださったものです。また、『アミ』の指定寄附では、西宮点訳グループあやめ(今田典子)様からも昨年に続いてご厚志を頂きました。皆様のご厚意に心から感謝いたします。なお、『アミ』は６月に第35号を発行。主な内容は、「お釈迦様はどんな人？(触図付)」「熊本城が復活!」「スペシャルインタビュー浮所飛貴(うきしょひだか)(美少年／ジャニーズJr.)」「ちょんまげの不思議(触図付)」「心理テストあなたの才能・能力診断」「アミ川柳」「脳トレクイズ(触図付)」などです。

点字製作係で大下 歩職員を採用

当館点字製作係では、６月８日付で大下歩(あゆみ)職員を採用しました。「触知」が大好きで、英語や西語が堪能。神奈川県から大阪市へ転居しての入職です。奥野主任の下、点字の触読校正を担当しますので、よろしくお願いいたします。

あ ゆ み

【６月】

22日 館内ボランティア活動・会議室貸出再開
　　点訳ボランティア養成講習会(中級)開講
23日 専門音訳・処理の基礎講習会(ｵﾝﾗｲﾝ)開講
24日 ガイド体験会(オンライン)
　　ボランティア世話人会(オンライン)
25日 専門音訳・英語講習会(オンライン)開講
26日 ICT サポートボランティア講習会開講

予　定

【７月】

８日 ５階エンジョイ！グッズサロンと図書貸出休室(書庫・在庫整理日)
10日 オープンデー(館内見学日、要予約)
14日 専門点訳・点字編集システム入門コース開講
16日 法人新任職員・当館研修
22・23日 全館休館(祝日)
24日 電子書籍・テキストデータ作成講習会開講

編 集 後 記　ある漫画の登場人物紹介に、お気に入り映画３本のリストだけでキャラクターの嗜好を表現するというものがありました。自分も好きな映画を３本リストアップしてみようと考えてみましたが、とても難しいです。作品数の制限がなければ楽ですが、３本だけとなると作品同士で相互作用を起こします。私の場合、まず「パディントン」は絶対に入れたいのですが、残り２本に「アニー」と「少林サッカー」を入れてみると、「少林サッカー」だけが浮いて、ウケ狙いみたいになってしまいます。まだ「パディントン」並みに、これだ！と思える映画に出会えておらず、残りの２本を違う方向性で選んだところ、こんな結果になりました。好きな映画に正解も不正解もないですが、いつかリストを更新できるような作品に出会いたいです。(徳)

ONE BOOK ONE LIFE(ワン ブック ワン ライフ) 2021年7月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
　　情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
　　TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
　　E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2021年7月1日
定　価　1部100円　　年間購読料1,000円

公式SNS はじめました　twitter　Instagram　YouTube